COOK DE MORAIMONO

ライアー 社会鍋 MONJA

古来、マンガ家とソフトハウスには全国津々浦々より、様々な食物が届けられる云う…
※社会鍋の意味を知っている人は、深く考えないこと。

材料

【ホテルオークラのパウンドケーキ／同リーフパイ／ラスク／よっちゃんイカ／特選ずわいがに脚肉缶詰／牛サーロインステーキ／ゴーヤドリンク／カレー（3日目）／アメリカ製のただ甘ココア／発狂くん（唐辛子煎餅のスゴイ奴）】

いきなり２０面体ダイス

【調理法決定表】

０１　生で喰う
０２　煮る
０３　焼く
０４　揚げる
０５　もんじゃ
～
１９　もんじゃ
２０　天京院

ａｉｎａ「振ります、えい」
新人のａｉｎａ君の手から、無造作にダイスが振られる。彼はこの場にいる全員の運命を自分が握っているという自覚があるのか。



やんばる「……もんじゃですな」
古くは「文字焼き」と称した東京下町名物。そのビジュアルから関西の人間は例外なくゲロを連想する。関東人だってそうだ。
やんばる「今宵のシェフはめてお殿に決定」
めてお「はいはい」
ライアーでもんじゃといえばこの人。もんじゃ道具全てを会社に私財で揃えた男。今宵も黄金のヘラさばきが唸る！
めてお「いいからプレート出して油でも敷いてなさい」
我々の輝かしい未来に乾杯！　まず鉄板に肉が投入される。サーロインだ。どうしてそのまま食べてはいけないのか。こんなにも美味しそうなのに。
やんばる「うまそうだなあ」
めてお「だなあ」
香ばしい匂いに別れを告げた後、どんどん材料を放り込む。キャベツ、桜エビ、さきイカ、チーズ、かつお粉、と言った基本材料。
めてお「どうせ滅茶苦茶になるのに、こんなきちんと下ごしらえして……」
我々の未来に乾杯！　いよいよ中身を台無しに。ラスク投入。続いてホテルオークラの高級ケーキ、リーフパイ投入。甘党過激派が見たら刺されそうだ。更にココア。
やんばる「わー……」
みるみる世界はココア色に。ココアどこ？あなたダリ？　と、ここで記念撮影。



盛りつけに凝ってみるあたりが悲しい。どうせ食べる時にはぐじゃぐじゃ～のでろでろ～になってしまうのに。



カラーでお見せできないのが残念なくらいココア色。原始の宇宙のような有様である。号令一下、鉄板を取り囲む。
一同「これは……」
その未知のもんじゃ（主にココア）の圧倒的パワーを前に、我々に出来ることは３文字のＮＧワード（ヒント：まずい）が口からこぼれ出るのをぐっとこらえつつ、はがしを口へと運び続けることだけであった。

やんばる「じゃあ、第２ラウンドに……」
我々の未来に乾杯！　インターバルにビールを飲み、やや勢いを取り戻した我々は第２ラウンドへと突入！　今度の具は先ほどの残り全部。



犬太郎「これは……」
しまさら「芸術だ」
原始の宇宙より生誕したのは未来の猫型ロボットであるのか？　だんだん人面詛ぽく見えてきたので破壊。ゴーヤ投入。青臭い。そこへ逃亡もとい外出していた睦月たたらが帰還。案の定我々を白眼視する彼に企画意図を説明すると、
たたら「それならこれも寄贈品だよ」
と、アスパラドリンクをぶち込む。あー。



医薬部外品が投入され、ぐじゃ混ぜになったプレートからかぐわしい香りが立ちのぼりだした。ひょっとしたら、とはがしを運ぶ。
とい天津「これは……美味しい……？」
それは美味かった。辛さで色々マヒしていたが、食すに耐える味であった。致命的と思われたゴーヤドリンク（マズイもの好きのめておが「ちょ～まじい」と絶賛）すらその存在を曖昧にするほど、背骨の通った味。何が勝因か？　確実なのは、我々のチャレンジスピリットが人類の常識を超越した瞬間であったということだ。我々の未来に乾杯！



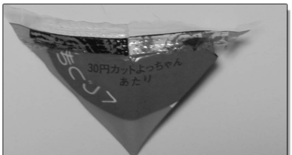
どんどん送って…ほしいような、ほしくないような

届いた食材の半分はせめて人間らしくいただき、残りを社会鍋の材料とさせていただく。ちなみにライアーメンの希望はトリュフ、フォアグラ、キャビアの「三大珍味もんじゃ」であるが、身近なものをお送りいただいて構わない。皆の食材提供を待つ。

街の巨匠に感謝

今回意図せずして食材を提供してくださった皆様。ごめんなさい。

よっちゃんいか・ラスク／ＵＮＩＴ様
発狂くん／「猫ま」でファンの方から
オークラのケーキ／プラスエージェンシー様
同リーフパイ／プラスエージェンシー様
すわいがに／とうふけーき
ココア／涙目のサマーズ
アスパラドリンク／きつねとたぬき
ゴーヤドリンク／沖縄物産展にてネタで購入
サーロインステーキ／ＣＯＯＰおつとめ品
カレー（３日目）／めてお謹製



ライアーは食べ物を大切にする会社です。